

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度6月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

## 事業名 **新**米穀貯蔵施設支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 米麦大豆係 電話番号：058-272-1111 (内 2863)

E-mail：[c11423@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11423@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 補正要求額 4,300 千円 (現計予算額：一千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	4,300	0	0	0	0	0	0	0	4,300
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により外食需要など業務用米の需要が大きく減少した。このため、農業者から出荷される米の多くを保管し、流通管理している全国農業協同組合連合会岐阜県本部においては、主食用米の大量の持ち越し在庫が発生しており、保管も長期化の様相を呈している。

米価の低下や米余り、令和3年産作の生産が開始されるなか、保管にかかる経費の負担が経営を圧迫しつつある。

#### (2) 事業内容

米穀の保管にかかる経費負担が増大することで、生産者負担も増えることになる。このため生産者の更なる経営の悪化が懸念されることから、新型コロナウイルス感染症により影響を生じた保管倉庫の維持管理にかかる経費の一部を支援する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1 / 2

(他の国庫事業においても補助率 1 / 2 が一般的

(産地パワーアップ事業、強い農業づくり交付金、等)

事業実施主体における販売努力、経費削減の努力を促す観点からも、一定の負担を科すことが妥当)

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,300	米穀保管倉庫の維持管理にかかる経費への支援
合計	4,300	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

1 (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

③水田農業における安定供給体制の構築と新たな展開

### (2) 後年度の財政負担

県負担は発生しない。

## 県単独補助金事業評価調査書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	米穀貯蔵施設支援事業費補助金
補助事業者（団体）	全国農業協同組合連合会岐阜県本部 （理由） 農業者から出荷される岐阜県産米のみを取り扱い、県内農業者の経営安定に資することが可能なため
補助事業の概要	（目的）新型コロナウイルス感染症の影響により業務用米を中心に需要が減少しており、米穀の保管に係る負担が増している。 （内容）新型コロナウイルス感染症により影響の生じた保管倉庫の維持管理に係る経費の一部を支援する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 1 / 2 （理由）事業実施主体における販売努力、経費削減の努力を促す観点からも一定の負担を科すことが妥当
補助効果	新型コロナウイルス感染症の影響から、米の消費量が減少する中、米の保管経費を支援することで、農業者の所得向上を図ることができる。
終期の設定	終期 令和 3 年度 （理由）新型コロナウイルス感染症の影響による支援のため

### （事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>国による米の生産数量目標の配分が廃止され、米の供給過剰に伴う米価下落が懸念される中、生産者自らの経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米づくりに取り組む体制を支援する。</p>
--

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① 水稻生産面積	2.5 万 ha	2.5 万 ha	2.5 万 ha
②			

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度 (要求)
補助金交付実績	0 千円	0 千円	0 千円	(予算額) 0 千円	(要求額) 0 千円

指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

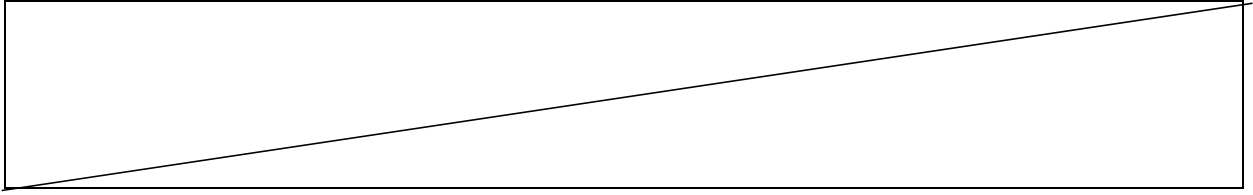
(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 需要量の低下による米生産の抑制、米価の下落等、稲作経営を含め土地利用型農業の経営安定に資する事業として推進する必要がある。</li> </ul>
---

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>
<p>(評価)      新型コロナウイルス感染症の影響から、米の消費量が減少する中、米の保管経費を支援することで、農業者の所得向上を図ることができる。</p> <p>○</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>
<p>(評価)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>
<p>(評価)      農業者団体に支援することで、効率的な支援が可能である。</p> <p>○</p>

(事業の見直し検討)



(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・**廃止**

(理由)

新型コロナウイルス感染症関連事業であるため、単年度で事業終了